

平成 28 年産水稻の作柄について

1 平成 28 年産水稻の被害状況

(生育状況)

本年産の水稻は、田植え（最盛期 5/27）以降、7 月中旬までは降水量が少なかったが、気温が高く推移したことで、生育は良好であった。しかし、出穂期（最盛期 8/7）以降の 8 月中旬から大気の状態が不安定になる日が多く、9 月に入って発生した台風 13 号・16 号による大雨で日照時間が平年を下回った。9 月の下旬以降は高温・多照で推移し、登熟は比較的良好であったことから作柄は平年並みとなった。

(作況指数 101 12 月 2 日公表)

(被害の発生状況)

山間地を中心に、防護ネット等の対策を講じたもののイノシシやシカ等による食害・踏み倒しの被害が発生した。また、8 月中旬から 9 月中旬の日照不足の影響により常発地を中心に穂いもち病による被害が発生した。一部の地域では、前線や低気圧の影響による風水害等が発生したものの、軽微であった。

(被害状況)

災害名	災害別割合	被害面積(a)	共済減収量(kg)	地域名
病 害	49.1%	1,376.2	15,658	須玉、高根、都留、道志等
獣 害	32.4%	692.8	10,325	富沢、須玉、富士吉田等の山間地
風水害	12.5%	528.6	3,972	南部、韮崎、白州、都留等
干害・虫害	4.0%	129.6	1,286	富沢、都留等
鳥 害	2.0%	76.4	628	市川大門、白州、富士吉田等
合 計	—	2,803.6	31,869	